

図書館 だより


泗水図書館 ☎0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつぶやき
 秋は読書の季節！散歩のついでに図書館へ遊びに来ませんか？
 コスモス



新着・お薦め図書

- 泗水図書館**
 羊と鋼の森 宮下奈都 著
 たらふくつるてん 奥山景布子 著
 琥珀のまたたき 小川洋子 著
 呪文 星野智幸 著
 倭国の都は火国・熊本 小山顕治 著
 田んぼアートのキセキ 葛西幸男 著
 ペンギンは、ぼくのネコ ホリー・ウェッブ 作
 アンドルーのひみつきち ドリス・バーン 文・絵
- 中央公民館**
 おかんメール 『おかんメール』制作委員会 著
 ディズニー占い リサ・フィナンダー 著
 moomin cafe おもてなしごはん 松本 勲 著
 君の臍臓をたべたい 住野よる 著
 新卒で給食のおばさんになりました 松山ルミ 著
 がっこうのおばけずかん 斎藤 洋 著
 ガスパールこいをする アン・グットマン 文
- 七城公民館図書室**
 超訳広岡浅子自伝 広岡浅子 著
 ボンボンで作る素敵なもの 井上真美他 編
 秘密 小林深雪他 著
 しずくちゃんおやつクッキング ぎぼりつこ 作・絵
- 旭志公民館図書室**
 トンネルの森 1945 角野栄子 著
 あっ！命の授業 ゴルゴ松本 著
 世界でいちばんすばらしいもの ヴィヴィアン・フレンチ 文
 100円ショップでうきうき手づくりおもちゃ 吉田未希子 著

としょかんまつり

～参加するのが楽しい！行きつけの図書館～

とき 11月7日(土) 午前10時～
ところ 泗水図書館

おはなし会、講演会、各種企画・展示、リサイクル図書無料配布ほか、楽しい催し物満載です！

スペシャルトーク！ 午後1時30分～3時

井上智重さん来館！
 「九州・沖縄シネマ風土記」の著者で熊本近代文学館長の井上智重さんをお招きします。どんな話が聞けるかお楽しみに！

関連イベント
やって・み・NIGHT！
～第2回利き本クラブ～
とき 11月4日(水) 午後6時～7時
 詳しくは館内チラシまたはホームページをご覧ください。

本好きの人 集まれ～！

耳より情報

☆ボンボンで雪だるまを作ろう☆

毛糸のボンボンで雪だるまスコットを作りませんか？キーホルダーにしたり、ツリーに飾ったり、お友だちにプレゼントするのもおすすめです！

とき 12月6日(日) 午後1時～3時
ところ 七城公民館中研修室
定員 10人程度 (先着順)
対象 小学生以上
参加費 無料
募集期間 11月2日(月)～28日(土)
 申し込み、問い合わせは七城図書室まで。

高さ約10センチのかわいい雪だるまスコットが作れますよ。みんなと一緒に作りましょう！



文芸 きくち

万句の里俳句会 9月例会

帰燕して広がる空のなほ広し 宮本 雅子
 嵐去り窺ふやうに虫の声 林 まつ子
 風の吹くたび色あせる吾亦紅 松永 久子
 高原に声をすべらせ草ひばり 中路 郁子
 土用干しては思ひ出又たゝむ 田中ひさ子

せせらぎ俳句会 9月例会

月今宵昔を偲ぶ友の顔 村山 数恵
 案じたる災ひも過ぎ稲の秋 五丁 義昭
 敬老日尼僧の法話に涙する 藤本アツ子
 孫からの絵手紙届く萩の花 寺本 和子
 蟻地獄見てをり諍ひし日の記憶 藤本 邦治

旭志文芸教室俳句の会9月詠草

戦線へ兄は十九の夏に散る 中尾ヨシコ
 夕星やひと日の暑さ未だあり 芹川 蓉子
 姉逝きて胸にぼっかり晚霞かな 水谷 ミネ

夏休み自転車けいこ一年生 芹川 のり子

肥後狂句桜会 9月例会
 たまの暇 旅行したいと妻は言う 田中レイ子
 白紙に戻し 熱の冷めたら嫌な奴 高木 房恵
 実りの秋 溢れとる自然の恵み 高倉 新米
 無念無想 球の止まって見えじゃア 辻 弘喜
 四方八方 三年経ってまだガレキ 藤野 清子

肥後狂句水笑会 9月例会

打つ手無し 医者どんからも見はなされ 平井 紅彩
 連休も 家族奉仕で鍛わるる 丸儲け オレオレちゅうとやらす銭 井手 水光
 丸儲け オレオレちゅうとやらす銭 井手 水光
 気の毒です 育毛剤もききません 小崎 海美
 子沢山 たらい回しの親の世話 山隈 好茶

七城短歌会 9月詠草

台風の進路は最悪如何にせむ稲は穂 孕み眠られぬなり 高木 精
 長雨にそこ此処伸びたる畑の草為す 術緩めし隙を突かれり 池田カツ子

点滴の管に安静強いらるる窓越しに 嶋田 晴美

「里」短歌会 9月詠草
 喧噪の夏の形見か水鉄砲秋の日を浴び庭に転がる 坂本 玲子
 久々にのぞいた晴れ間園庭に子らの頭上にトンボ群れ飛ぶ 緒方 正俊

高年齢者大学文芸部 9月歌会

「ノモンハン玉砕」幾度巡る兄の忌よ 山代 菊代
 ハルハの流れ何をか語る 山下 静子
 歳をとることの寂しさ膝にきて朝な夕なに立居を阻む 山代 静子
 窓あけて家族揃ひて見る花火曾孫も背伸びし大声あげる 中原 光子
 声しぼりむらぎもしぼり蝉の鳴く幹を叩けば尿をかけゆく 川口 敦子

菊池短歌会 10月詠草

ボート、へり災害列島とふなれどこの国の態勢頼もしかりけり 古賀 勝士
 夕暮れの残光もいとやはらかに老ひ盛りなる齢としむ 中川 愛子
 殉教の祭祀のやうな没りつ陽の茜を裂きて銀機わたれる 怒留湯健容
 薄桃のちひさき花弁空に映え山を背に十月桜 林 まつ子
 遠来の客待つわれに立葵今朝くれなるの蕾ほどきし 村上さき江